

2005 12 December

平成17年12月1日発行
第551号



SAKURA



SUGI



UGUISU

いいしかわ

C O N T E N T S

町が好き、人が好き、みんなでつくる町が一番好き	2
合併50周年・公共事業総合落成記念式典	4
合併50周年記念事業	4
みんなでつくる安全のまち	5
緊急出動 防災訓練	6
もつといきいき介護保険	10
合併50周年記念特集	12
街かど探検隊・カレンダー	14
こんにちは・みんなの広場	16
生涯学習コーナー、ほか	17
国保だより、ほか	19
小さな美術館、ほか	20



記 念 式 典



半世紀のあゆみと これからの躍進を誓い

石川町合併50周年記念式典並びに公共事業総合落成式が10月5日、町総合体育館で関係者約420人が出席し、盛大に行なわれました。現在の石川町は、昭和30年3月、石川町・沢田村・山橋村・中谷村・母畑村・野木沢村の一町五か村が大同合併し、新生石川町として誕生して以来、今年で半世紀を迎えました。



▶式典に先立ち石川フィルの演奏会が行われました

町民総参加による 協働のまちづくり

合併50周年記念式典は、国、県の来賓、町内各種団体の代表、受賞者など約420人が出席して行われました。

式典に先立ち石川フィルハーモニックオーケストラによる記念演奏会、女声コーラスの皆さんのリードで国歌、町民の歌の斉唱が行われました。つづいて西牧立博町長が「本町の進展に尽力されてきた町民の力を誇りとしながら、自由民権運動の魂を受け継ぎ、町民総参加による協働の町づくりにより、本町第四次総合計画の目標テーマである「人・自然が融けあふあぶくま高原都市いしかわ」

の実現に向け、最大の努力を傾注す

る所存であります。今後、尚一層皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。」と式辞を述べました。

酒井利治議会議長あいさつ、経過報告に続いて各種功労者、団体に西牧町長から表彰状・感謝状が手渡されました。また、平成7年から平成16年までの10年間、公共事業に携わった77社に感謝状が贈られました。

つぎに塩田金次郎県議会議員や石川地方町村会長平田村二瓶清美村長らがお祝いの言葉を述べ、矢内清一町議会議長首頭の万歳三唱で石川町の満50歳を祝いました。

▶女声コーラスのリードで町民の歌斉唱



石川町合併50周年 公共事業総合落成式

各種功労者を表彰



功労表彰を受ける吉田利昭さん

昭和30年3月31日、町村合併により石川町発足以来、町政の振興進展にそれぞれの分野で尽力賜った方々百五十人、二十三団体へそれぞれ表彰状・感謝状が贈られました。受賞された方々は次のとおりです。
(敬称略・順不同)

功労表彰

町長(在職した者)
鈴木信夫
助役(在職した者)
菅野康男・吉田利昭・瀬谷京子
吉田正和
収入役(在職した者)
吉田利昭・矢内康男・木田達男
教育長(在職した者)
高坂啓作
議会議員(8年以上)
米倉正裕・近内重好・吉田達夫
秋山 孝・酒井利治・矢内清一

二瓶義雄・中村孝太郎・岡部 恒
前田武明・深谷勝彦・中村 弘
農業委員(9年以上)
溝井栄一・小松一夫・塩田忠福
下山田満・鈴木誠治・中島 健
二平光衛・福田芳一・三森喜一
吉田友一・三森万里・小針定夫
教育委員(8年以上)
坂本次男
監査委員(8年以上)
坂本次男・近内密弥
選挙管理委員(8年以上)
掛田泉子
民生児童委員(9年以上)
芳賀孝雄・三森和典・藤田昭一
野内正則・石森節子・野地重治
高木三郎・芳賀 規・永沼善之
近藤貞雄・大平 榮・林 健作
中村嘉雄・相楽美榮子・木戸正明
高木春子・南條 質・小豆畑豊
遠藤亀由・星健二郎・小針邦安
草野傳男・有賀喜一・藤島廣輝
瀬谷梅男・西牧フチエ・添田謙一
郷多三郎・佐川勝一・伊藤夕力子
金内サクヨ・斉藤和子・鈴木良子
阿部文子・深谷恒夫・田中登美子
行政区長(8年以上)

大平善道・諸岡基治
消防団員(25年以上)
添田昌直・矢吹義郎・永沼一夫
斎藤幸夫・相田義男
町職員(25年以上・退職者)
小豆畑和男・小木英雄・関根久子
添田貞夫・山田スミ子・斉藤幸子
古川美知子・和気敏夫・緑川幸子
山田イチ子・近内正隆・泉力ツ子

竹貫知孝・赤塚和雄・高原トク子
矢内明男・添田ヒツエ
交通安全関係(10年以上)
小玉紀代子・小松利治・近山一夫
橋本直子・吉田全男・矢内正弘
南條武光
納税組合長(15年以上)
永沼幸三郎・佐川勝一・吉田昌善
統計調査員(15年以上)
芳賀正次郎・江尻秋男・草野傳明
添田吉金・矢内俊一
社会教育関係
永沼一夫・斎藤英幸・吉田春男
石井文三・藤島 力・大串勇一
遠藤和男・小針幸栄・蛭田富枝
大竹代志子・橋本栄一・小林典子
芳賀 満
事業優良(農業関係)
渡辺一雄・光福村
事業優良(商工業関係)
美山会
保健衛生協力員(10年以上)
江田光江・青木幸子・有我シゲ子
生田目照江
保護司(8年以上)
郷 泰隆・須藤 榮・西川一英
田子靖子
人権擁護委員(8年以上)
佐藤隆秀・味戸照子・佐川ミエ子
西川弘道・中村嘉雄
行政相談委員(10年以上)
鈴木益夫

特別表彰

団体
東京いわき石川会

企業

福島縫製工業株式会社・株式会社
サンシン石川工場・シーエージー
株式会社・東京下田工業株式会社
福島工場・株式会社信越精密石川
製作所・石川金属工業株式会社・
株式会社ヨコハマモーターセール
ス石川工場・株式会社東鋼福島工
場・ホワイトプロダクト株式会社
福島工場・セキダイ工業株式会社
福島工場・株式会社エイソーコー
ポレーション・東北工業株式会社
石川工場・東北ミドリ安全工業株
式会社・東洋シャフト株式会社福
島工場・株式会社大井製作所石川
工場・新協工業株式会社・東英工
業株式会社・加ト吉水産株式会社
フーズ部福島工場・株式会社ナシ
ヨナルマリンプラスチック福島工
場

感謝状

議会議員
故鈴木善美・故吉田 正
農業委員
故中塚一寿
選挙管理委員
故高原郡長
行政区長
故西牧晋一
職員
故玉山節子
篤志寄付関係等
有賀弘和・矢部喜正・星野昭一
遠藤 正・株式会社八幡屋

合併50周年記念事業

生涯学習文化講演会



クリストファー・スピルマン氏

映画『戦場のピアニスト』を語る

10月1日、生涯学習文化講演会が共同福祉施設で、アカデミー賞監督賞などを受賞し多くの話題を呼んだ『戦上のピアニスト』主人公モデルの長男で、九州産業大学国際文化学部教授クリストファー・スピルマン氏を講師に行われました。第二次世界大戦中のポーランドを舞台にドイツ軍とのかかわりを鮮明に描いたこの映画はファンも多く、たくさんの方々が聴講しました。

50周年を迎え さまざまな記念事業

合併50周年を迎え、現在町ではさまざまな記念事業を行っています。ここでは今までに行われた企画展、講演会を紹介します。今後も石川町民号、石川町史の発刊が行われる予定です。

石川の鉱物 150 展



時を経て も輝くあぶくまの息吹

10月1日～12月4日、石川町歴史民俗資料館で、石川地方で採取された鉱物約150種類を展示した「石川の鉱物150展」が開催されています。日本三大鉱物産地の一つであるこの地方で採れた世界的にも珍しい標本はもちろん、ウラン鉱採掘現場の記録、テレビバラエティ「開運なんでも鑑定団」に出品された鉱物なども展示され、多くの皆さんが訪れています。

鳥内遺跡の全貌展



古代の人々の生活

そして発掘に尽力した人々の思い

6月17日～8月28日、石川町歴史民俗資料館で鳥内遺跡の全貌展が行われました。弥生時代の壺棺再葬遺跡の全容はもちろんのこと、発掘調査に尽力された人々のエピソードなどもふんだんに取り入れ、古代のロマンの中に人間味も加味される展示となりました。



10月30日には、野村貴美氏を講師に記念講演会が行われました

みんなで作る 安全のまち



取り戻そう 安全な暮らし

近年、私たちのまわりに発生する犯罪は、凶悪化・低年齢化・広域化が進み、特に弱者と言われるお子さんやお年寄りが被害者となるケースが増加しています。

この状況は、過去、世界一安全な国といわれ「私たちの安心・安全は当たり前なもの」という考えを覆すものとなりました。今後は安心して暮らせる社会をいかにして取り戻していくかが重要な課題になっています。

地域に根ざした さまざまな防犯活動

このような状況の中、「地域の安全は地域で守ろう」と住民や防犯ボランティアなどが一丸となり、地域に根ざした防犯活動が行われています。子ども達の通学の安全を守る活動、流入する多数の観光客などからの犯罪を防ぐ活動、広報活動、街頭指導など地域の実情にあったさまざまな取り組みは、犯罪を抑制する大きな役割を担っています。

「地域安全の日」 大会が開催

10月6日、たまかわ文化体育館で第2回石川地方住民総参加「地域安全の日」大会が開かれました。この大会は、いわき石川青年会議所が実行委員となり、石川地方の防犯関係団体の参加・協力で行われました。大会ではハートフルうつくしまポスターコンクールや防犯川柳コンクールの表彰、防犯劇などが披露され会場全体で防犯意識の高揚を図りました。



▶ポスターコンクール優秀賞の
佐藤かおりさん

・ハートフルうつくしまポスターコンクール・

優 秀 賞



石川中学校2年 佐藤かおり



石川中学校3年 秋山 梨紗

・防犯川柳・

佳 作

防犯は地域ぐるみで輪になって

石川長寿会 星 ヨシ

振り込めの電話は切つてまず確認

石川長寿会 我妻 和子

緊急出動!!

防災訓練

天災は他人事ではありません!

10月16日、石川町役場から町民グラウンドの各所で福島県中地方・石川町総合防災訓練が行われました。新潟、宮城と隣県での相次ぐ地震の発生、異常気象による大雨など、天災は他人事とは言えません。日頃の災害に対する心構え、そして対処方法を一人ひとりがしっかりと持ち、いざという時のために備えましょう。



想定

大型で強い台風が上陸し大雨・洪水・暴風警報が出された直後、福島県沖を震源としたマグニチュード7の地震が発生。家屋の倒壊や火災が発生し山林へも延焼した。また、集中豪雨による今出川堤防決壊のおそれ、道路のライフラインの決壊、自動車事故も発生している。

役場に設置された災害対策本部から現地へ向かいます。交通規制も行われました。

現地対策本部設置



被害状況の収集にあたりるとともに現場の指揮をとります

多数負傷者交通事故の発生



車からの出火を警戒しながら救出活動・応急救護を行います。

被害状況調査



県警災害警備先遣隊 バイクなど 県消防防災航空隊 (ヘリコプター) による調査

水防

堤防決壊の恐れ さまざまな工法による水防と住民の避難



▶避難誘導



▶積土の工法



▶シート張り工法

救援物資輸送



各地から寄せられた救援物資を区分けし避難者に届けます

生物・化学物質災害



郵便局に不振な小包が...感染防護衣を着けた隊員が救助へ向かいました

文化財火災防ぎよ(初期消火)



貴重な文化財を火災延焼から守ります。重要物品の持ち出しも行います

障害物除去・緊急交通路確保



簡易レッカーを使用し救急車などの通行路を確保します

車両火災



乗用車が爆発炎上!すばやい消火が必要です

倒壊家屋からの救出



チェーンソー、ジャッキ、バールなどを使い下敷きになっている住民の救出をおこないます

ボランティア受け入れ



各地から集まってくれたボランティアの仕事の調整を行います

アマチュア無線による緊急通信



無線による被災状況の把握など情報の収集にあたります

炊き出し・飲料水供給

命の糧 水と食料の供給を行います。



▶ボランティア団体によるおにぎりづくり



▶自衛隊野外炊飯車



訓練

ヘリコプターで

救出

学校が
火事だ!!

消火、救急、救助、避難



子供たちを安全に避難誘導

救助活動を子供たちも心配そうに見守ります



はしご車での救出

近隣で火災が発生し、学校にも飛び火する恐れがあります。

すばやくそして安全に避難場所まで誘導、全員の安否確認、逃げ遅れた人の救助。一刻の猶予も許されません。ここでも救出の最新技術が結集です。

生活基盤の復旧

私たちの生活にはかせない電気・電話・郵便・水道の応急復旧訓練と仮設代替設置の訓練



東北電力による電力復旧



水道協会による水道復旧



NTTによる電話復旧

防災

山火事発生!!



煙と水しぶきにつつまれた消火活動



ヘリコプターによる消火剤散布



放水ばかりが花形ではありません。ポンプの操作

住宅火災から飛び火し山火事が発生、消防団の出動です。日頃の訓練の成果、全員の息がぴったりです。

防災イベントコーナー

▶子供に人気の消火体験コーナー



▶さまざまな防災用品



▶移動式の水タンク



▶迫力ある一斉放水



開会式
多くの参加協力団体のみなさん、ごくろうさまでした

◀最後に行われた防災パレード



もっといきいき

わたしたちのまちの

介護保険

ますます進む高齢化に備え、介護保険制度を持続していくためには、高齢者が介護や支援を必要とせず、元気に自立した生活を送ることができ環境づくりが求められています。

そのためには、介護予防を目的としたサービスの充実や、住みなれた地域で自立した生活を続けるための支援を総合的に受けられる体制を作っていく必要があります。そこで、工夫した介護予防も含めた介護保険制度の見直しが行われることになりました。また、私たちの住むまちでも介護保険の給付や保険料の見直しを行い、来年度から新たな事業計画のもと運営されます。みなさんが、よりいきいきと暮らし、そして必要な介護や支援を適切に利用することができるための介護保険制度の見直しとなります。

新しいサービスを

地域包括支援センターの創設

虐待など高齢者がかかえる、さまざまな問題をどこに相談すればよいのか、また、介護保険のサービスと医療や福祉でのサービスをどのように選び利用すればよいのかなど、さまざまな問題に対し高齢者の生活を総合的に支援する「地域包括支援センター」を設置します。

地域包括支援センターの役割

市町村が運営主体となって、高齢者が住みなれた地域で自立した生活を継続できるよう総合的・包括的なマネジメントを担います。保健師、ケアマネージャー、社会福祉士などの職員が専門性を生かしたマネジメントを行います。

- 総合相談・支援や他の必要なサービスとの連携
- 介護予防ケアマネジメントの実施
- 包括的・継続的マネジメントの実施
- 高齢者の虐待防止のための相談や権利擁護

地域密着型サービスの創設

一人暮らしの高齢者や認知症の高

齢者など自宅で支援を必要とする高齢者に在宅支援を強化するため、身近な地域（日常生活圏域）で地域の特性に応じた多様なサービスを柔軟に提供できるよう、新たに「地域密着型サービス」が創設されます。

日常生活圏

地理的状况、人口、住民の生活形態等の地域の特性をふまえて市町村が設定します。

地域密着型サービスの例

- 夜間対応型訪問介護
- 認知症対応型通所介護
- 小規模多機能型居宅介護
- 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- 地域密着型特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）
- 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- 介護予防認知症対応型通所介護
- 介護予防小規模多機能型居宅介護
- 介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

住みなれた地域で生活を支えるために提供できるサービスですが、その地域にそのサービスが必要かどうかを運営協議会等で審議して市町村が設置していきます。

よりよいサービスを

利用者がよい事業者を選択できる
ように、また、要介護認定やケアプ
ランの策定が公平・公正に行われる
ように、サービス事業者側、市町村
ともに見直しを行います。

事業者では

サービス事業者の情報を公表
利用者がよい事業者、本当に必要な
サービスを選択できるように、介
護サービス事業者は介護サービス情
報を都道府県知事あてに報告し、そ
の情報を都道府県知事が公表します。
・介護サービス情報の例
職員体制、施設整備、利用料金、
特別な料金、サービス提供時間など
事業者規制の見直し
事業者の指定に更新制を導入しま
す。また指定の取消などの要件も見
直します。

ケアマネジメントの適正化
よりよいケアマネジメントのため
に、ケアマネジャーの資格更新制
の導入、研修の義務化、担当件数の
見直しなど、ケアマネジャーの資
格や業務の見直しを行います。

市町村では

市町村の保険者機能強化
介護サービスの適正な給付を実施
していくために、市町村の介護サー

ビス事業者に対する権限を見直し、
給付等のチェック強化などを行って
いきます。

負担のあり方 制度運営の見直しを

所得の低い人の保険料軽減など負
担能力をきめ細かく配慮した保険料
段階の変更や徴収方法の見直しが行

われます。また、わたしたちのまち
の介護保険の運営状況の見直しに伴
い、平成18年度から新しい保険料額
となります。

保険料段階の見直し

所得の低い人の負担能力をきめ細
かく配慮した保険料設定にするため
現行の第2段階を細分化して「新第
2段階」を設けます。

現 行		平成18年4月から（予定）	
第1段階	本人および世帯全員が住民税非課税であって、老齢福祉年金の受給者・生活保護の受給者	第1段階	同左
第2段階	本人および世帯全員が住民税非課税	新第2段階	本人および世帯全員が住民税非課税であって、合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の人
		新第3段階	本人および世帯全員が住民税非課税であって、第2段階以外の人
第3段階	本人が住民税非課税（住民税課税世帯）	第4段階	左同
第4段階	本人が住民税課税で合計所得金額200万円未満	第5段階	左同
第5段階	本人が住民税課税で合計所得金額200万円以上400万円未満	第6段階	左同
第6段階	本人が住民税課税で合計所得金額400万円以上	第7段階	左同

石川町は上表のとおり、現在6段階の設定になっていますが、平成18年度からは7段階の設定になる予定です。

徴収方法の見直し

保険料の天引き（特別徴収）する
年金の対象を遺族年金、障害年金ま
で拡大します。

利用者の納める手間を省くため、
年金から天引きとなる対象者の把握
を年1回から複数回にします。

生活保護を受給している人の介護
保険料を、保健福祉事務所などから
被保険者に代わって交付される保護
費から直接支払えるようになります。

平成18年度から 保険料の見直しを

私たちのまちの介護保険が健全に
運営されていくために、3年ごとに
制度の見直しを行っています。それ
に伴い介護サービスにかかる費用な
どの現状を考慮して保険料額を見直
し、平成18年度から3年間の保険料
額を設定します。

新しい事業計画を策定中

介護保険は3年ごとに見直しが行われます。制度の施行から6年がたち、制度の大幅な改正が行われる中、私たちのまちの介護保険も介護サービスの利用状況などの見直しを行い、平成18年度に向けて新しい事業計画を策定しています。

自然と調和し安全で

快適なまち

生活環境

1 自然と共生する社会をつくるために

(1) 快適な環境の保全と景観の形成
町の中心を流れる今出川、北須川の四季折々の美しい景観、湖面に美しい風景を映し出す母畑湖など豊かな自然環境の保全を図り、また、自由民権運動発祥の地や和泉式部生誕

の地としての歴史的文化遺産を保全活用し、これらを町づくりに取り入れるとともに、ゆとりある生活を送ることができるよう魅力ある景観の形成に努めます。
(2) 土地利用の推進

本町の地域特性や地形条件を踏まえ、福島空港、あぶくま高原道路、あぶくま新都市構想などの主要プロジェクトを町の地域振興に生かすため町内を大きく5つのゾーンで捉え、計画的な土地利用を図ります。

また、自然環境及び歴史的な風土の保全に配慮しながら、安全で快適な生活環境と均衡のとれた市街地の整備及び産業の振興を図るため、効率的な土地利用の推進に努めます。

(3) 循環型社会の推進
資源やエネルギーを大量に消費する今日の社会から、これまでの社会



石尊山のイルミネーションには環境にやさしい風力発電と太陽光発電が使われています

▶ みんなのいこいの場あさひ公園

経済システムやライフスタイルを見直し、環境への負荷の少ない社会の構築が求められています。

環境にやさしいまちづくりを視点とした環境教育を推進し、資源を上手に使う循環型社会の形成をはかり、また、一般廃棄物最終処分場と粗大ゴミ処理施設を建設し、広域的な処理体制の充実を図ります。

(4) 公園・広場・河川の整備

公園、広場は災害時の避難地や町民生活に安らぎを与える憩いの場として、多様な機能を担っていることから、町民相互の交流の場として公園、広場の整備を図ります。

また町内を流れる河川は桜並木と共に、身近な公園として親しまれ、四季を通じて美しい景観を見せており、自然環境に配慮した環境整備と保全を図ります。



2 快適な都市基盤の整備を目指すために

(1) 道路の整備

本町の主要幹線道路は、118号、主要地方道いわき・石川線、飯野・三春・石川線、白河・石川線、一般県道石川・鴛子線、赤坂西野・石川線が中心市街地から町外に放射状に伸びており、これらを結ぶ内環状、外環状の幹線町道が接続しています。快適で安全な道路交通を確保するため国・県道を含めた放射状道路の充実、環状道路の形成、及び地域間道路の整備を図り、また、集落を結

ぶ身近な生活道路としての町農道の整備を図ります。

福島空港を中心とした高速交通網と連絡する空港アクセス道路などの地域間幹線道路の整備については、国・県に早期着工を要望し、広域化する生活行動圏とこれに伴う交通量の増加に対応します。

(2) 住環境の整備

自然環境の保全に配慮しながら小規模な宅地の開発を行い、安価な宅地の供給で定住を促進すると共に、公営住宅については老朽住宅の立替や改修などで魅力ある住環境の整備に努めます。

(3) 上・下水道の整備

安定した水の供給と地域の開発を促進するため、上水道の拡張事業及び今出ダム事業の推進と簡易水道事業の充実に努めます。

また、快適な生活を営むため排水施設等の整備推進を図り、河川の水質改善に努めます。

(4) 市街地の整備

既成市街地の活性化を図るため、町の特性を生かした都市計画街路の見直しや公共施設の再整備などにより市街地整備の推進を図り、また、新たな開発が予想される地区については、開発誘導をはかるためインフラ等の整備に努めます。



安価な宅地開発で定住を促進します（谷津団地）



交通事故・犯罪ゼロの明るい町をめざします

3 安全で安心な地域社会を目指すために

(1) 消防・災害対策の充実

町民の防火意識の高揚に努め、火災の未然防止を図り、消防力の強化と施設整備に努めます。また、あらゆる災害から町民の生命、財産を守るため常備消防との連携を図りながら、地域消防、防災対策の充実に努めます。

防犯意識と連帯の高揚に努めます。

(3) 公共交通の整備

鉄道及び路線バスの運行本数が減り利用者にとっては不自由をきたしていることから、通学生や高齢者には欠かすことのできない公共交通のあり方を検討し、関係機関への働きかけを行い交通体系の維持に努めます。

(4) 斎場・墓地公園の整備

現在の火葬場は老朽化が著しいことから、斎場の早期建設及び墓地公園建設を促進します。



水郡線の利用促進を図ります

(2) 交通安全・防犯対策の充実
交通量の増加、高齢社会の進展に伴い高齢者等の交通弱者の事故割合が高いため、これらの対策として交通安全施設の整備、安全意識の高揚などを図ります。

また、犯罪のない明るいまちづくりをめざすために町民一人ひとりの

探 険 隊

か ど

取材します！身近に行われている楽しいイベントや明るい話題などを役場総務課までお寄せください。



子ども達の夢や思いを手助けします

10月6日、町長室で沢田小中学校父母と教師の会(吉田高代表)へ福島県青少年健全育成推進事業補助金(うつくしま夢パレット事業)の交付式が行われました。沢田中学校では、今年で17作となる巨大壁画を、みなご丸となって完成させようという思いがこの補助金の交付につながりました。

この日は、県から町長を通し、吉田隆幸生徒会長らに補助金が手渡され、団結して素晴らしい壁画を完成します」と決意を述べました。



秋の空 恒例の母衣旗まつり

10月10日、母畑レークサイドセンターで、2005母衣旗まつりが開催されました。好評の野外焼肉パーティー、石川空手道連盟のアトラクションに始まり、ウルトラマンマックスショー、菊池章夫・金子透ミニライブ、津山洋子&高樹一郎ショーなど多彩なイベント。おいしい食べ物や物産イベントコーナーなどの露天が軒を連ねました。

当日は、雨が降ったりやんだりのすっきりしない天気となりましたが、来場した人たちは思いおもいに秋のひと時を楽しんでいました。



ホルスタインのオリンピックに小豆畑さん、添田さんが出場

10月26日、町長室で、第12回全日本ホルスタイン共進会出場者の激励会が行われました。

この大会は全国から厳しい審査を突破した牛たちが美しさなどを競う大会で5年に一度開催されています。11月3日から栃木県で開催される大会に、小豆畑正さん(山形)添田勉さん(北山形)がそれぞれ大事に育てた牛と一緒に出場します。

この日は、二人に激励金が手渡されたあと、代表で小豆畑さんが、よい結果が報告できるようがんばってください」と決意を述べました。



育てよう 一人一人の人権意識

11月27日、共同福祉施設大ホールで白河人権擁護委員協議会合同研修会が開催されました。

昨今、個人の価値観の違いや、自己の利益を主張するあまり他人の人権を軽視する風潮などが見受けられるなか、地域と密着して人権擁護活動をする皆さんの負担がますます高まっています。

この日は、白河地方事務局管内の人権擁護員約70人が集まり、講演やグループ討議で多様化する人権擁護のための対処法などを学びました。

CALENDAR

石川町 12 ~ 1月の主な予定

街

12月 December

15	ねんきん相談(郡山社会保険事務所)(10:00~)	勤労青少年ホーム
16	心配ごと相談・結婚相談(10:00~)	老人福祉センター
17		
18	在宅当番医	味原医院
19		
20	すくすく教室(9:30~)	保健センター
21	1歳児健診(9:30~)	保健センター
22	小中学校第2学期終業式 冬至 3歳児健診(13:00~)	町内各小中学校 保健センター
23	母畑レークサイドスケート場開き 天皇誕生日 在宅当番医	母畑レークサイド ひらた中央病院
24		
25	クリスマス 在宅当番医	中島病院
26		
27	心配ごと相談(10:00~)	老人福祉センター
28		
29		
30	在宅当番医	石川中央医院
31	大晦日 在宅当番医	ひらた中央病院



1月 January

1	元旦 在宅当番医	ひらた中央病院
2	在宅当番医	ひらた中央病院
3	在宅当番医	ひらた中央病院
4	新年互礼会(11:00~)	ホテル松多屋
5	1歳6ヶ月健診(1:00~)	保健センター
6	心配ごと相談(10:00~)	老人福祉センター
7		
8	第58回石川町成人式(11:00~) 在宅当番医	ホテル松多屋 中島病院
9	成人の日 在宅当番医	ひらた中央病院
10	小中学校第3学期始業式	町内各小中学校
11	ひまわり教室・2歳児教室(9:30~)	保健センター
12	B C G・3~4ヶ月児健診(13:00~)	保健センター
13		
14		
15	在宅当番医	中島病院

芸術の秋 各地で文化祭

10月・11月は、町内各公民館、共同福祉施設などで「夢と感動輝く文化」石川町総合文化祭が開催されました。地域の特色を生かしたさまざまな催しに多くの皆さんが参加し、芸術の秋を楽しみました。

(写真上)10月16日、共同福祉施設で行われた文化協会芸能部主催「芸能祭」

(写真中)10月22日、共同福祉施設で行われた音楽祭運営委員会主催「音楽祭」

(写真下)11月3日・6日、中央公民館ではさまざまな作品の展示が行われました。

ごんじは

みんなの広場

青春ど真中 Q&A



字秋台 藤島 祐さん (19歳)

職業 福島銀行矢吹支店に勤務しています。

A Q 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか
仕事と遊びです。今しか出来ないことを大切にしていきたいから。

A Q 将来やってみたいことや夢を聞かせてください
幸せな結婚生活を送れたらなあと思います。

A Q どんな町になってほしいと思いますか
メガステージがオープンしたらたくさんの方が石川町に集まると思うので、それをキッカケに多くの方が訪れてにぎやかな町になったらいいなと思います。

A Q 最後に理想のタイプは優しく笑顔が絶えないかわい子さん。

今回は、藤島さんの紹介で 関根 崇人さんです。

ほのぼの 二人三脚 Q&A

住所 / 曲木字馬城免
矢吹 勉さん (75歳)
アキさん (74歳)

A Q お子さんは何人ですか
子どもは4人授かり、孫が9人になりました。

A Q 結婚されて50年、思い出を聞かせてください
私たちは昭和29年1月に結婚、大工と少しの農家で生計をたてていました。当時の大工は、1日の日当が米1升程度(約2000円)でした。また、現在のようになかなかシステムがしっかりしていなかったため、収入も不安定で妻には苦労をかけた。現在、家業は息子たちに任せて、妻と山林や庭の手入れなどをしながらのんびり生活しています。

A Q お二人の楽しみは何ですか
勉さん 建築材料の仕入れ(材料くばり)は、まだ任せられない楽しみです。
アキさん 野菜作りに庭の手入れです。

A Q 石川町の一番好きなところを教えてください
石尊山から眺める、春の桜並木を初め四季折々の山々の美しさに感動させられます。

A Q 町政に望むことは何ですか
歴史的史跡や名所に連携する山林の手入れをおこなえば、京都や奈良に負けない美しい観光地になりえると思います。

A Q 歴史の史跡や名所に連携する山林の手入れをおこなえば、京都や奈良に負けない美しい観光地になりえると思います。

A Q 歴史の史跡や名所に連携する山林の手入れをおこなえば、京都や奈良に負けない美しい観光地になりえると思います。

A Q 歴史の史跡や名所に連携する山林の手入れをおこなえば、京都や奈良に負けない美しい観光地になりえると思います。

A Q 歴史の史跡や名所に連携する山林の手入れをおこなえば、京都や奈良に負けない美しい観光地になりえると思います。



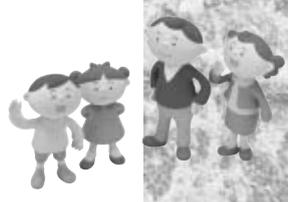
まなか 緑川 愛花ちゃん 平成14年8月12日生まれ

「キティちゃんが大好きです。誰からも愛されるやさしい女の子に育ってね！」
久美子ママより(双里字白坂下)



うつき 塩田 羽希ちゃん 平成15年12月5日生まれ

「お兄ちゃんに負けないで元気に強い子になってね！」
明基パパより (山形字兔田)



しゅう だん
あつ あた
集 暖
まれば かい

サークル紹介コーナー 第9回

ミューズ プライベート
ユニットバンド



音 楽を楽しもう！
イベント、パーティー、オールマイティに活動しています。音楽は聴くだけではありません、一緒にからだを動かしたり歌ったり、老若男女みんなで私たちと一緒に楽しみましょう。

私 たちは平成9年、某音楽イベントのため県中・県南地区から当時初対面だったみんなが集まり結成された、演歌のバックバンドからロック、クラシックまでジャンルを問わない活動をするイベントバンドです。11人の音楽好きが週2回、勤労青少年ホームに集まり練習しています。

連絡先

中島義真
電話 26 2769

▶楽しくも真剣な練習風景



▶石川町音楽祭にも出演しました



私のふるさと

岩手県胆沢町



山形字兔田

塩田 直子さん

あなたの故郷はどんな所ですか

岩手県南部、古くからの農村の原風景が残る人口約1万8千人岩手県胆沢町です。胆沢町は西側に焼石連峰、東側は胆沢扇状地として肥沃な平野地です。特に農村地帯の風景は散居集落（田んぼや畑の中に住宅がぼつんぼつんと離れて立つ）、屋敷林、キヅマ（マキを重ねて作る生垣）など中世東日本の農村の姿を残すと言われています。

いつ、石川町に来ましたか
平成14年4月に来ました。

石川町の印象は

目の前に山や川がせまり、四季の彩が身近に美しく感じられます。また、気さくな人が多く、とてもよくしてもらっています。

みんなに望むことは何ですか

これからの子ども達のために保育行政、教育行政の充実をはかっていただきたいと思います。

募集案内

みんなの広場では各コーナーに登場していただける方を募集しています。お気軽にご連絡ください。

総務課広報広聴係

☎26-2112

保健センターだより

第9回



上手に食べて健康管理

健康診断は、病院通院もなく元気な人のためにあるのですが、まだまだ、「健康に自信があるから」とか「時間がない」と受けない人も多く、希望する対象者の半数は受けていない現状です。反面、すでに病院で薬をもらって治療しているが、病院で検査をしないのでやりたいと希望する人も多く、結果を見ると要医療や治療継続の人を合わせて約7割になります。

病院ですでに治療を受けている人は、病気を見つけるための健診より、医療機関で生活改善のためのアドバイスを受け、食事や運動など自分でできることをやっていき、上手に健康管理をしていくことが第一です。症状が出ないのが生活習慣病の特徴で、しかし、約7割は生活習慣病で死亡し、その数の約5倍は治療している人がいるといわれています。症状がないといって安心は禁物です。40代から急速に増える病気ですので、働き盛りの方は、健康的な生活習慣をめざして、特に食事や運動を見直しながら、適正体重に近づけるように、軽いうちからやってみましょう。薬だけに頼らず、できることから自分で実践して欲しいと思います。

親子で楽しい読書活動

10月29日(土)中谷地区公民館で、週末チャレンジ教室「中谷子ども教室」が開催され、読み聞かせやペープサード劇、お話しクイズなどを行いました。これは、放課後や週末に子どもたちに文庫活動を中心としながら安全で安心できる居場所を提供する中谷子ども居場所づくり推進事業として実施しているものです。

当日は、中谷親子読書の会と連携しながら実施しましたが、地区文化祭の開催もあって参加した子どもたちはいろいろな催しに満足顔でした。



みんな一緒に楽しい時間を過ごしました

宝物をさがして〜

福満虚空蔵尊

北山形

町指定文化財の福満虚空蔵尊は天正年間(一五七三〜一五九二)石川城主石川昭光の姉・浄仙尼が尾巻山に庵を結び、山頂に虚空蔵尊を安置し「権現の本地奥の院」と称したのがはじまりとされています。その他にも様々な言い伝えが残されているなど、霊験そして趣の深い場所です。



さあ入口に着きました。もう少し車で行けます



▶参道をゆっくり歩きます。ひっそりとした杉並木は、まるで熊野古道?



左右には牛と虎がかまえる立派な本堂。奉祭の福満虚空蔵菩薩がまつられている

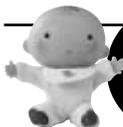


この階段をのぼれば本堂です。ちょっと息切れ

「宝物をさがして〜」では、皆さんの情報をお待ちしています。隠れた名所・場所・行事・人自分だけが知っている秘密の…なんでも結構ですでお知らせください。



(平成17年10月1日～10月31日まで届出分 敬称略)



こんにちは 赤ちゃん

氏名	保護者	住所
竹貫 花梨 (あか かり)	(敏 晃・陽 子)	下 泉
関根 孝輝 (せきね こうき)	(孝 幸・公 子)	沢 井
岡田 玲央 (おかた れいおう)	(純 ・伴 美)	轡 取
川島 大和 (かわしま たいわ)	(宏 一・三津子)	山 形
鈴木 淳大 (すずき じゆんたい)	(優 一・佳 子)	古 館
相樂 理人 (あいがき りじん)	(文 彦・真由美)	曲 木
郷 美空 (ごう みそら)	(貴 ・香)	大字新屋敷
阿曾 智仁 (あそ ちじん)	(政 秀・淳 子)	矢ノ目田
佐藤 愛華 (さとう あい)	(章 ・静 香)	中 野
吉田 真凧 (よした まこと)	(一 弘・真 里)	塩ノ平
松山 美宇 (まつやま みう)	(正 博・裕 美)	立ヶ岡
遠藤 凜 (えんどう りん)	(泉 ・忍)	形 見
角田 涼芭 (かくた りょうば)	(博 美・真紀子)	双 里

角田涼芭さんは11月号掲載もれでした。お詫び申し上げます。



カップル誕生

新 郎 新 婦 (出 身 地)

西牧 教夫(双 里)・佐藤 市子(平田村)
 矢吹 博孝(谷 沢)・下山田幸子(長久保)
 曾根 秀文(下 泉)・松本 静(いわき市)



おくやみ

氏名	住 所
中 島 ツルヨ	中 野
添 田 一	鹿ノ坂
小 林 浩 孝	母 畑
緑 川 隆 三	中 野
塩 田 八ナヨ	湯郷渡
飯 田 武	形 見
相 樂 キ又	曲 木
伊 藤 定 子	長久保
草 野 正 美	曲 木
安 田 島 笑	屋敷入
添 田 イチ	北山形
関 根 リキ	母 畑
江 尻 啓 三	赤 羽
小 有 賀 義 和	板 橋
佐 藤 美 智 子	当 町
吉 田 八 ナ	白 石
	湯郷渡

国 保 だ よ り

こんなときどうするの？

いったん全額自己負担したとき

次のような場合はいったん全額自己負担となりますが、国保の窓口へ申請し審査で決定すれば、自己負担分を除いた額が、あとで療養費として支給されます。

費用を支払ったときから2年たつと支給されなくなりますので、ご注意ください。

申請に必要なもの

不慮の事故などで国保を扱っていない病院で診療を受けたり、旅先で急病になり保険証を持たずに診療を受けたとき。

保険証
申請書
診療内容の明細書
領収書

手術などで輸血に用いた生血代。(お医者さんが必要と認めた場合で、第三者に限る)



保険証
申請書
医師の診断書か意見書
輸血用生血液受領証明書
血液提供者の領収書

お医者さんが治療上必要と認めた、コルセットなどの補装具代。

保険証
申請書
医師の診断書か意見書
領収書

骨折やねんざなどで国保を扱っていない柔道整復師の施術を受けたとき。

保険証
申請書
明細な領収書

はり・灸・マッサージなどの施術を受けたとき。(お医者さんの同意が必要)

保険証
申請書
医師の同意書
明細な領収書

海外渡航中にお医者さんにかかったとき。(診療が目的で渡航した場合は支給されません)



保険証
申請書
診療内容の明細書と
領収明細書
(外国語の場合翻訳文が必要)

国保のサービスを受けられないとき

下記のように、病気とみなされないものや、他の保険が使えるときなどには保険証が使いませんので、注意してください。

病気とみなされないもの

健康診断 人間ドック 予防注射 正常な妊娠
 軽度のわきがやしみ 美容整形や歯列矯正
 経済上の理由による妊娠中絶

他の保険が使える場合

仕事上の病気やけが(労災保険の対象となります)

国保の給付が制限されるとき

故意の犯罪行為や故意の事故
 けんかや泥酔による病気やけが
 医師や保険者の指示に従わなかったとき

今月の 12月26日までに納めましょう
納期 国民健康保険税 (6期分)
 介護保険料 (6期分)

小さな美術館

第225回
沢田中学校

施設の紹介

沢田中学校は、現在全校生徒67名です。巨大壁画のテーマのとおり、生徒一人ひとりが主役となり、学習や生徒会活動はもちろんのこと、部活動、各種コンクールに積極的に取り組み、自分のよさを随所で発揮しています。



「輝き放て今この時」

18作目を迎えた巨大壁画は「再利用が可能」のものを追求し、ペットボトルのキャップに決まりました。19万600個のキャップに色を塗り、つなぎ合わせ、輝く生徒と私たちを支えてくれるすべての人々を表現しました。

編集後記

晩秋から初冬にかけてのこの季節。この町の風景が好きです。木々や草花はこれから始まる冬に向けての準備。たくさんの光が、澄んだ空気の中さまざまな色に反射し大地に注ぎます。これからやってくる冬。そして春には、青い芽と柔らかな日差しが戻ってくる。毎日ここに生活し初めてわかる美しさ。この町をもう一度好きになれる季節です。
(吉田知克)

町の人口

11月1日現在住民基本台帳

	18,775人 (- 22)
男	9,166人 (- 7)
女	9,609人 (- 15)
世帯数	5,586戸 (+ 2)

()内前月比

ふるさとの花だより



ヤブツルアズキ (マメ科)

草地に生えるツル性の一年草。これを改良しアズキが出来たとされています。

豆(種子)はアズキよりも小さく黒ずんでいます。

(写真提供 / 関根政信さん)

表紙の 登場人物

沢田児童館に通う佐川賢樹さん(左)友海さん(右)。祖父の勝一さん祖母の芳子さんです。



表紙の写真

【左上段】10月7日、大野峯さん農園でおこなわれた第一保育所りんご狩りの風景です。
【右下段】10月10日、母衣旗まつり会場でおこなわれた、人権擁護員啓発活動の様子です。